

前段の質問に対し、明瞭、不明瞭を含めての回答を頂きありがとうございます。
ました。

追質の機会を頂きましたので、2点について追質を行います。

まず、「子育てに安心」について、幼保における市としての子育て支援については答弁のような取組みをされていることは理解できましたが、保育士の確保についても課題があると述べられています。

近隣市町でも保育士さんの確保は大変だと聞いておりますが、特に栗東市は評判が悪い。悪いと言うのは「労働条件の問題」です。

臨時の人でも担任をまかされることもあり、時間外も発生している。このことは重要です。

今年度の一般会計補正予算でも、保育士さんの確保ができず幼保併せて約1億円の人件費が減額となっています。

当市における現在の、正規の保育士さんの人数と臨時の保育士さんの人数、そして、現状からみた不足の人数、また、なぜ保育士の応募が少ないのか、その理由、そして、今後の保育士確保に向けた対策等についての考え方をお聞かせください。

つぎに、「暮らしに安心」の件で、くりちゃんバスの充実に向けた取組みの件で、草津市のまめバスをはじめ、近隣市との連携については、将来的にも期待が持てる取組みだと考えますので、是非、積極的な協議をして頂きたいと思います。また、先日、お隣湖南市でキャラクターバス「こにゃんバス」のお披露目がありましたが、このようにユニークな取組みも市民に親しまれる要素であると思いますので、ご検討いただければと思いますが、停留所の整備については回答いただいております。

この件につきましては、本定例会に上程されている議案第17号の条例の条文に、「乗合自動車の停留所には、ベンチ及びその上屋を設けること。云々」とありますが、停留所の整備も利便性の向上や利用者増の一助になると思いますので、是非、停留所の整備についても前向きにご検討を頂きたいのですが、市の考え方をお示しください。

以上、追質とさせていただきますが、常に「誰のための施政なのか」を念頭において取組みをされているとは思いますが、市民が希望を持てる市政運営でありますことを切にお願い申し上げ、栗東市民ネットワークの全質問を終わります。